

# 第8次大和市総合計画（後期基本計画）成果を計る主な指標の検証

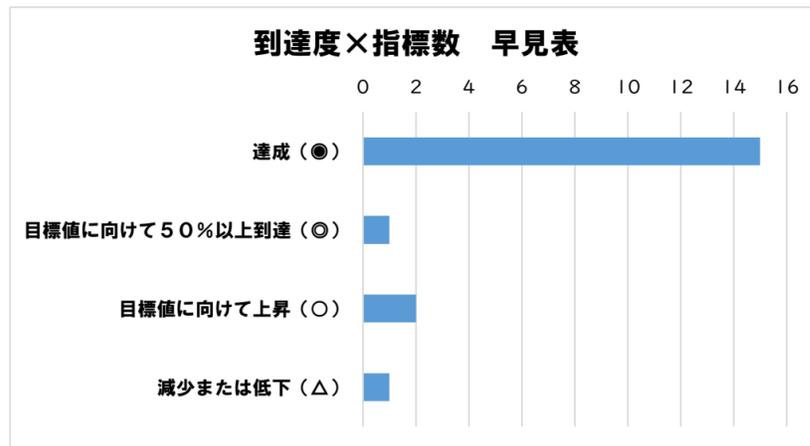
## 基本目標 3 安全と安心が感じられるまち

### ▼成果を計る主な指標・最終目標値H30年度の達成状況

目標値に達した 指標数	/	指標数
15	/	19

目標値に向けて 50%以上到達した 指標数	/	指標数
16	/	19

目標値に向けて 上昇した指標数	/	指標数
18	/	19



指標の項目	当初値 H24	目標値 H30	実績値 H30	到達度	
				率	到達
40 地域防災訓練を実施している自治会の割合	72.0%	78.0%	80.7%	145.0%	●
41 市と避難行動要支援者名簿を共有している自治会の割合	66.4%	78.0%	100.0%	289.7%	●
42 住宅の耐震化率	88.5%	93.2%	93.2%	100.0%	●
43 地域で広域避難場所が知られていると思う市民の割合	66.8%	70.3%	72.7%	168.6%	●
44 指定避難所等における想定避難者数に応じた非常食料の備蓄率	70.6%	85.3%	85.3%	100.0%	●
45 防災講話の受講団体数	45団体	60団体	42団体	-20.0%	△
46 防災上重要な公共建築物の耐震化率	97.7%	100.0%	99.4%	73.9%	◎
47 雨水整備率	68.2%	69.0%	69.2%	125.0%	●
48 火災発生率(人口1万人あたりの火災発生件数)	2.9件	2.6件	1.5件	473.3%	●
49 救命講習受講者資格取得者数(累計)	21,411人	35,000人	42,890人	158.1%	●
50 救急車の医療機関到着までの所要時間	36.0分	36.0分	34.9分	-1.1分	●
51 以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う市民の割合	46.0%	50.0%	56.7%	267.5%	●
52 年間犯罪発生件数	2,499件	2,100件	1,664件	209.3%	●
53 自主防犯活動団体数	188団体	228団体	192団体	10.0%	○
54 交通人身事故発生件数	1,267件	1,100件	877件	233.5%	●
55 交通安全教室等参加者数(イベントを除く)	20,187人	23,000人	21,099人	32.4%	○
56 消費生活相談の苦情件数のうち完結済みの割合	99.5%	99.5%	99.6%	+0.1ポイント	●
57 家庭用品品質表示法・製品安全4法に係る立ち入り検査による適正表示の割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	●
58 時間帯補正等騒音レベル(Lden)	72.8	通減させる よう取り 組 み ま す	60.8	-12ポイント	●

### ～総括～

- ・19の成果を計る主な指標のうち、目標値に達したものは15、目標値に向けて上昇したものは18と、ほぼすべての指標で成果を上げたといえます。
- ・<sup>40</sup>地域防災訓練を実施している自治会の割合が目標値を上回り、<sup>43</sup>地域で広域避難場所が知られていると思う市民の割合も上昇していることから、市民の防災意識が高まっていることが考えられる一方で、<sup>45</sup>防災講話の受講団体数については想定ほど数字が上昇しなかったことで、唯一当初の値を下回りました。
- ・目標値を達成した指標の中でも、<sup>41</sup>市と避難行動要支援者名簿を共有している自治会の割合については、実際に名簿を活用して災害時に支援にあたる人の選定などの取り組みを進めていきます。また、<sup>44</sup>指定避難所等における想定避難者数に応じた非常食料の備蓄率は公助に関する指標ですが、災害への備えは自らが行うことが基本であることを踏まえ、自助のさらなる意識啓発などに取り組むことが必要と考えています。
- ・<sup>53</sup>自主防犯活動団体数は、新たに自主防犯活動を行う余裕のある団体が少なく伸び悩んでいます。また、<sup>51</sup>以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う市民の割合や<sup>52</sup>年間犯罪発生件数は大幅に目標値を上回り、これまでの防犯等に関するハード面、ソフト面の取り組みが市民の体感治安の向上につながっていると捉えています。
- ・この間、様々な機関や団体等と連携しながら交通安全対策にも力を傾けてきた中で、<sup>54</sup>交通人身事故発生件数も目標を達成し、また、<sup>56</sup>消費生活相談の苦情件数のうち完結済みの割合が上昇していることから、安全安心につながる取り組みの結果が出てきています。あわせて基地対策についても、<sup>58</sup>時間帯補正等騒音レベル(Lden)で示す騒音の低減という形で成果を上げました。
- ・指標の達成状況を見ると、自然災害に対する備え、犯罪、交通事故などの日常生活のあらゆる場面で、安全や安心が感じられるまちの実現に向けて、確実に歩みを進められたものと考えています。健康都市やまと総合計画に基づき、今後も引き続き、様々な災害への備えや日々の暮らしの安全を守ることを通じて、市民が安心して毎日を送ることができるよう、努めていきます。

(総合計画審議会のコメント)

### 成果を計る主な指標の達成状況の検証(課題となるものを抜粋)

#### ①<sup>45</sup>防災講話の受講団体数

(達成状況に関する市の考え方)

・H27年度以降、年間40以上の団体が防災講話を受講しています。新たに受講を希望する団体を含め、毎年定期的に依頼はありますが、想定したほど受講団体数が伸びませんでした。自助を基本とするいざという時の備えの重要性や市民の防災意識がさらに広がっていくよう、より多くの受講団体に関心を持ってもらうための周知や講話内容の工夫等に努めていきます。

(総合計画審議会のコメント)